



2026年8月26日(水)
余市養護学校しりべし学園分校
文責：研究部 寺門
第2号

いよいよ長い長い2学期が始まりました。これまでの研修の内容(流れ図)をベースにしながら子ども主体の授業作りについて、分校職員全体の専門性を高めていけたらと考えています。本号では、7・8月に行われた研修等の様子についてお伝えします。

夏休み教材教具展2026



先生方の専門性の向上、若手の先生への研修を目的に教材展を行いました。先生方のこれまでの経験で作成・使用してきた教材を含め、たくさんの手作り教材が並びました。目の前の児童生徒にすぐに使用できるものとは限りませんが、アイデアや発想はとても参考になったのではないのでしょうか。初任・新任の先生方の感想を一部お伝えします。



運賃箱と
整理券発行機

このような練習できる教材があると、本番でも電車やバスをスムーズに利用することができると思いました。また、現在ではICカードでの乗車が大体を占めているため、ICカードバージョンに工夫して変えてみたりすると対応できそうだなと思いました。(篠崎 T)

施設入所や交通手段が不便な地域に居住している生徒にとって、公共交通機関を使用するというイメージはつきづらいついで、実物に近い形で予行練習できることはとても有効だと思いました。動画などをみるだけではなくおもちゃで遊ぶ感覚で実践できるのも良いと思いました。(佐藤 T)



YouTube 何見たいボード

この教材を活用することで、見たい動画を選択して、自分の好みや意思を主体的に表現する力が育まれると考えられます。自分の選択によって希望が実現する成功体験を得ることは自己肯定感やコミュニケーションへの意欲の向上につながることも期待できます。(久米 T)



係活動 昼休み

イラストを手掛かりに自分で選択し、操作することで意思を表出できる点は、特別支援教育において大きな意義があると感じました。また、自分で選んだことが相手に伝わるという経験は、コミュニケーションへの意欲や自己肯定感を高めることにもつながると思います。(野村 T)

校内研修について

各学部、1人ずつ児童生徒を抽出し、アセスメントを行いました。検査結果、指導計画、学びの履歴などから課題関連図、重点課題などの設定を行い、流れ図を作成しました。それぞれの学部で活発な話し合いが行われました。今後この流れ図をもとに指導案を作成し互見授業を行う予定です。

小学部

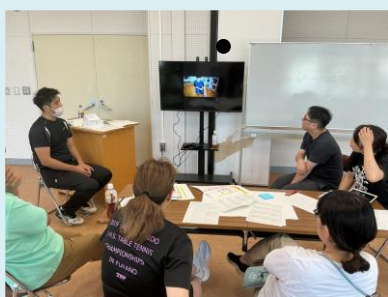
小学部では、児童が成長できたこと、新たにできるようになったことを中心に学習の履歴を振り返りました。時々立ち歩きはありますが、自分の席に座って学習に向かえるようになってきたこと、褒められると前向きに学習に向かえるようになってきたことなどが挙げられました。期待する3年後の姿では、落ち着いて授業を受けられること、友達を大切にすること、作業を丁寧に行うことが挙げられました。

中学部



中学部では、各種検査結果や支援計画、日頃の様子をもちより、生徒一人ひとりの学びや得意・苦手について話し合いを行いました。多角的な視点から意見を出し合うことで、生徒の実態や本当に必要な手立てについて理解を深める貴重な機会となりました。今後は外部支援機関「あおいそら」や学園とも密に連携し、生徒へ直接還元できる充実した支援を目指します。さらに、具体的な指導法や方向性を固め、教員同士の「互見授業」を通して、日々の学習支援へ確実に反映させてまいります。

高等部



高等部では、対象生徒の新版K式の検査時の動画を見ながら、課題面と、併せて長所である良い面、得意な面にフォーカスして話し合いを進めました。課題とするかしないかなどの意見が分かれる場面もあり、より深い学びとなりました。高校2年生という時期であることから、今後の成長が見込めるか、残り時間（卒業まで）で実現可能かなどの観点も踏まえて、現在の課題を洗い出し指導の方向性を導き出すことができました。

今後の予定

月	研究・研修
9	研究日⑥実践方針、方法、目標報告
10	研究日⑦対象生徒のグループ検討 互見授業
11	研究日⑧対象生徒のグループ検討 互見授業
12	研究日⑨実践報告会
1	振り返りアンケート
2	研究日⑩まとめ